

大極殿

大極殿は平安神宮の外拝殿です。大極殿の真後ろに位置している本殿には、桓武天皇（737～806）と、孝明天皇（1831～1866）が祀られています。この二人の天皇は、平安京最初の天皇と最後の天皇です。本殿は一般に公開されていませんが、階段を上った先にある大極殿では誰でも参拝することができます。

ここにある大極殿は、当時のものを縮尺して復元したものであり、元の大極殿はほぼ二倍の大きさでした。天王御所の正庁である朝堂院は、平安京の行政の中心地であり、大極殿は主な催事場として、天皇の玉座が据えられていました。そこで天皇は重要な儀式や平安京の諸事を執り行いました。

平安神宮の大極殿は、応天門と白虎楼・蒼龍楼を含む、境内にある複数の建築物とともに日本の重要文化財に指定されています。